

2019 年度
南山大学自己点検・評価報告書
(様式 1-1)

南山大学内部質保証委員会

2019 年度

南山大学自己点検・評価報告書

(様式 1-1)

－目 次－

<学部>

●人文学部.....	1
・キリスト教学科.....	2
・人類文化学科.....	3
・心理人間学科.....	4
・日本文化学科.....	5
●外国語学部.....	6
・英米学科.....	7
・スペイン・ラテンアメリカ学科.....	8
・フランス学科.....	9
・ドイツ学科.....	10
・アジア学科.....	11
●経済学部.....	12
●経営学部.....	13
●法学部.....	14
●総合政策学部.....	15
●理工学部.....	16
・システム数理学科.....	17
・ソフトウェア工学科.....	18
・機械電子制御工学科.....	19
●国際教養学部.....	20
●短期大学部.....	21

<研究科>

●人間文化研究科.....	22
・キリスト教思想専攻.....	23
・宗教思想専攻.....	24
・人類学専攻.....	25
・教育ファシリテーション専攻.....	26
・言語科学専攻.....	27
●国際地域文化研究科.....	28
●社会科学研究科.....	30
・経済学専攻.....	31
・経営学専攻.....	32
・総合政策学専攻.....	33
●ビジネス研究科.....	34
●法務研究科.....	35
●法学研究科.....	36
●理工学研究科.....	37
・システム数理専攻.....	38
・ソフトウェア工学専攻.....	39
・機械電子制御工学専攻.....	40

学部・学科 研究科・専攻	人文学部	氏名	青柳 宏	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人文学部教授会運営委員会（兼学科長会議）、人文学部教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度人文学部懸案事項20190423	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人文学部教授会運営委員会（兼学科長会議）、人文学部教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○		改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第14回教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人文学部カリキュラム委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○		改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 人文学部カリキュラム委員会検討結果報告 2019年度第14回教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人文学部教授会運営委員会（兼学科長会議）、人文学部教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第14回教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	キリスト教学科	氏名	松根伸治		
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/	改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第5回学科会議議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/	改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第5回・第6回学科会議議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	/	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第5回・第6回学科会議議事録、2019年度卒業生対象学部カリキュラム調査（学科分）	改善・向上する時期（いつまでに）
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	/	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議、学科FD懇談会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第5回・第6回・第14回学科会議議事録、学科FD懇談会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/	改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第5回学科会議議事録	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	人類文化学科	氏名	谷口佳津宏		
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人類文化学科自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
				改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第3回、第6回、第7回、第8回人類文化学科自己点検・評価委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人類文化学科自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
				改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第3回、第6回、第7回、第8回人類文化学科自己点検・評価委員会	改善・向上する時期（いつまでに）	
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人類文化学科自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
					改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第3回、第6回、第7回、第8回人類文化学科自己点検・評価委員会記録、2020年3月24日付人類文化学科カリキュラムアンケート結果報告	改善・向上する時期（いつまでに）
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人類文化学科自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
					改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第3回、第6回、第7回、第8回人類文化学科自己点検・評価委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人類文化学科自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
				改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第3回、第6回、第7回、第8回人類文化学科自己点検・評価委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	

学部・学科 研究科・専攻	心理人間学科	氏名	浦上昌則	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み 改善・向上する組織（例えば教授会）
			心理人間学科自己点検・評価委員会、学科会議	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
			2020年度第1回心理人間学科自己点検・評価委員会議事録、2020年度第3回学科会議事録	
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			心理人間学科自己点検・評価委員会、学科会議	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
			2020年度第1回心理人間学科自己点検・評価委員会議事録、2020年度第3回学科会議事録	
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			心理人間学科自己点検・評価委員会、学科会議	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
			2020年度第1回心理人間学科自己点検・評価委員会議事録、2020年度第3回学科会議事録	
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）	
		心理人間学科自己点検・評価委員会、学科会議	改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）	
		2020年度第1回心理人間学科自己点検・評価委員会議事録、2020年度第3回学科会議事録		
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			心理人間学科自己点検・評価委員会、学科会議	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
			2020年度第1回心理人間学科自己点検・評価委員会議事録、2020年度第3回学科会議事録	

学部・学科 研究科・専攻	日本文化学科	氏名	榎山洋介	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 日本文化学科・自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 「学科HP（https://www.nanzan-u.ac.jp/Dept/hj/top.html）」 「学科作成webページ（http://depts.nanzan-u.ac.jp/ugrad/JINBUN/nihonbunka/shoukai/）」 「日本文化学科・自己点検・評価委員会記録（2020年3月11日）」	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 日本文化学科・自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 「学科HP（https://www.nanzan-u.ac.jp/Dept/hj/top.html）」 「日本文化学科・自己点検・評価委員会記録（2020年3月11日）」	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 「2019年度日本文化学科・学科会議記録」 「学科HP（https://www.nanzan-u.ac.jp/Dept/hj/top.html）」 「2019年度第17回 人文学部教授会資料（2020年3月11日）」 「FD関連活動等実施記録（2020年3月11日）」	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 「南山国際高等学校との懇談会記録（2019年6月21日）」 「聖霊高等学校との懇談会記録（2019年6月26日）」	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	外国語学部	氏名	牛田 千鶴	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織 (例えば教授会) 教授会および外国語学部自己点検・評価委員会	改善・向上する組織 (例えば教授会)
			/	改善・向上すべき課題 (何を)
			/	改善・向上する方法 (どのように)
			点検・評価したことを示す資料 (例えば○○年度第○回教授会議事録) 2019年度第3回教授会議題・配付資料・議事録、 2019年度第2回外国語学部自己点検・評価委員会議題・配付資料・議事録	改善・向上する時期 (いつまでに)
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織 (例えば教授会) 教授会および学科長会議	改善・向上する組織 (例えば教授会)
			/	改善・向上すべき課題 (何を)
			/	改善・向上する方法 (どのように)
			点検・評価したことを示す資料 (例えば○○年度第○回教授会議事録) 2019年度第15回教授会議題・配付資料・議事録、 2019年度第12回・第13回学科長会議議題・配付資料	改善・向上する時期 (いつまでに)
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織 (例えば教授会) 教授会および学科長会議	改善・向上する組織 (例えば教授会)
			/	改善・向上すべき課題 (何を)
			/	改善・向上する方法 (どのように)
			点検・評価したことを示す資料 (例えば○○年度第○回教授会議事録) 2019年度第15回教授会議題・配付資料・議事録、 2019年度第12回・第13回学科長会議議題・配付資料	改善・向上する時期 (いつまでに)
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成 (科目の配置等) および実施 (授業形態や教育方法等) についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織 (例えば教授会) 学科長会議	改善・向上する組織 (例えば教授会)	
		/	改善・向上すべき課題 (何を)	
		/	改善・向上する方法 (どのように)	
		点検・評価したことを示す資料 (例えば○○年度第○回教授会議事録) 2019年度第10回・11回・12回・14回学科長会議議題・配付資料	改善・向上する時期 (いつまでに)	
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じて、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織 (例えば教授会) 教授会および学科長会議	改善・向上する組織 (例えば教授会)
			/	改善・向上すべき課題 (何を)
			/	改善・向上する方法 (どのように)
			点検・評価したことを示す資料 (例えば○○年度第○回教授会議事録) 2019年度第2回教授会議題・配付資料・議事録、 2019年度第2回学科長会議議題・配付資料	改善・向上する時期 (いつまでに)

学部・学科 研究科・専攻	英米学科	氏名	鈴木 達也	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第15回、16回教授会資料、第1回学科会議資料、議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第15回、16回教授会資料、第1回学科会議資料、議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第15回、16回教授会資料、第1回学科会議資料、議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
		/	改善・向上すべき課題（何を）	
		/	改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回学科会議資料、議事録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回学科会議資料、議事録	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	スペイン・ラテンアメリカ学 科	氏名	泉水 浩隆	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 第3回学科会議議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第15回教授会記録および第3回学科会議議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第15回教授会記録および第3回学科会議議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 第3回学科会議議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 第3回学科会議議事録・第8回学科会議議事録	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	フランス学科	氏名	クローン・ダヴィッド		
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回学科会議記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第15回教授会議事録および第1回学科会議記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第15回教授会議事録および第1回学科会議記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）		
		/		改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回学科会議記録	改善・向上する時期（いつまでに）		
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じて、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回学科会議記録	改善・向上する時期（いつまでに）	

学部・学科 研究科・専攻	ドイツ学科	氏名	太田 達也		
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回学科会議記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第15回教授会議事録および第1回学科会議記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第15回教授会議事録および第1回学科会議記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）		
		/		改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回学科会議記録	改善・向上する時期（いつまでに）		
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回学科会議記録	改善・向上する時期（いつまでに）	

学部・学科 研究科・専攻	アジア学科	氏名	中 裕史	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	改善・向上する方法（どのように）
			改善・向上する組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上すべき課題（何を）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	改善・向上する方法（どのように）
			改善・向上する組織（例えば教授会） 教授会および学科会議	改善・向上すべき課題（何を）
基準5 学生の受け入れ	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	改善・向上する方法（どのように）
			改善・向上する組織（例えば教授会） 学科会議	改善・向上すべき課題（何を）

学部・学科 研究科・専攻	経済学部	氏名	林 順子			
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み		
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）		
			/		改善・向上すべき課題（何を）	
					改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第2回教授会記録, 2020年度第2回教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）		
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）		
			/		改善・向上すべき課題（何を）	
					改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第17回教授会記録, 2020年度第2回教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）		
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	/	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
				/		改善・向上すべき課題（何を）
						改善・向上する方法（どのように）
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第17回教授会記録, 2020年度第2回教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	/	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
				/		改善・向上すべき課題（何を）
						改善・向上する方法（どのように）
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第17回教授会記録, 2020年度第2回教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）		
			/		改善・向上すべき課題（何を）	
					改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第17回教授会記録, 2020年度第2回教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）		

学部・学科 研究科・専攻	経営学部	氏名	安田 忍		
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学部自己点検評価委員会、教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/	改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
				改善・向上する時期（いつまでに）	
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学部自己点検評価委員会、教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/	改善・向上すべき課題（何を）	
	改善・向上する方法（どのように）				
	改善・向上する時期（いつまでに）				
ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	×	/	点検・評価した組織（例えば教授会） 学部自己点検評価委員会、教授会	改善・向上する組織（例えば教授会） 学部自己点検評価委員会、教授会	
			改善・向上すべき課題（何を） ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を把握する方法の策定		
改善・向上する方法（どのように） カリキュラムマップを利用した成果の把握、授業評価アンケートの活用による学生の自己評価に基づく学修ポートフォリオや学修ルーブリックの導入の可能性の検討			改善・向上する時期（いつまでに）		
基準5 学生の受け入れ	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学部自己点検評価委員会、教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/	改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
				改善・向上する時期（いつまでに）	
アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	/	点検・評価した組織（例えば教授会） 学部自己点検評価委員会、教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			改善・向上すべき課題（何を）		
			改善・向上する方法（どのように）		
			改善・向上する時期（いつまでに）		

学部・学科 研究科・専攻	法学部	氏名	岡田 悦典
-----------------	-----	----	-------

評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度教授会議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度教授会議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第○回教授会議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度教授会議事録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度教授会議事録	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	総合政策学部	氏名	藤本 潔	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	改善・向上する方法（どのように）
		○	点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第17回教授会審議資料No.2	改善・向上する時期（いつまでに）
			改善・向上する組織（例えば教授会）	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	改善・向上する方法（どのように）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	×	点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第17回教授会審議資料No.2	改善・向上する時期（いつまでに）
			改善・向上する組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会） 学部懇談会および教授会 改善・向上すべき課題（何を） 全学科科目の成績分布を学期毎に一覧表にして教授会に提示することで、学修成果を客観的に把握してきたが、この一覧表ではディプロマ・ポリシーとの対応関係が不明であった。また、学修目標の達成率を科目毎に把握することはできるが、各学生レベルでの評価はできなかった。 改善・向上する方法（どのように） 2020年度春学期中に学部懇談会で検討を開始する。
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第3回教授会報告資料25 2019年度第11回教授会報告資料14	改善・向上する時期（いつまでに） 2020年度中には何らかの評価方法を試験的に開始する。	
		点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	改善・向上する方法（どのように）
		○	点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第17回教授会審議資料No.2	改善・向上する時期（いつまでに）
			改善・向上する組織（例えば教授会）	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	理工学部	氏名	大石泰章		
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回教授会記録「2019年度学部長方針について」	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第5回教授会記録「卒業研究評価表フォーマットの変更について」	改善・向上する時期（いつまでに）	
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第5回教授会記録「卒業研究評価表フォーマットの変更について」	改善・向上する時期（いつまでに）	
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）		
		/		改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第6、8回教授会記録「カリキュラム・マップ試作版について」 2019年度第14回教授会記録「理工学部3つのポリシーの改正について」	改善・向上する時期（いつまでに）		
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第9、11、12、13、14回教授会記録「2021年度以降の入学試験について」 2019年度第14回教授会記録「理工学部3つのポリシーの改正について」	改善・向上する時期（いつまでに）	

学部・学科 研究科・専攻	システム数理学科	氏名	三浦英俊
-----------------	----------	----	------

評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学部教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第14回理工学部教授会 議事録 審議事項7. 理工学部3つのポリシーの改正について	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学部教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第14回理工学部教授会 議事録 審議事項7. 理工学部3つのポリシーの改正について	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） システム数理学科科会議，理工学部教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 卒業研究主査が作成した卒業論文評価表	改善・向上する時期（いつまでに）
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学部教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第14回理工学部教授会 議事録 審議事項7. 理工学部3つのポリシーの改正について	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学部教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第14回理工学部教授会 議事録 審議事項7. 理工学部3つのポリシーの改正について	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	ソフトウェア工学科	氏名	蜂巣吉成		
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
			/		改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第14回理工学部教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
			/		改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第5, 14回理工学部教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
			/		改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第5回理工学部教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）		
		/		改善・向上すべき課題（何を）	
		/		改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第6, 8, 14, 16, 17回理工学部教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）		
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
			/		改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1, 6, 9, 14回理工学部教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	

学部・学科 研究科・専攻	機械電子制御工学科	氏名	河野浩之	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			教授会	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			教授会	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			教授会	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			教授会	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			教授会	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
			2019年度第9回理工学部教授会 記録	
			2021年度以降の入学試験について	

学部・学科 研究科・専攻	国際教養学部	氏名	斎藤 術		
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
			/		改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 完成年度となる2020年度に検証予定。	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 学部教授会、学部運営委員会（カリキュラムマップの審議に関連して）	改善・向上する組織（例えば教授会） 学部教授会、学部運営委員会	
			/		改善・向上すべき課題（何を） 現在のディプロマ・ポリシーは、批判的思考、情報リテラシー、コミュニケーション能力、異なる価値観の尊重、グローバルな視点、持続可能な社会の実現に向けて他者と協働する力などを挙げている。これを維持しつつも、専門科目群の内容に言及する記述を加え、より具体的に、要求される学修成果を示す。
			/		改善・向上する方法（どのように） カリキュラム改革委員会、学部運営委員会にて、ディプロマ・ポリシーの修正案を作成し、学部教授会で十分に時間をかけて審議する。
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第10回、第11回教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに） 2020年度末。
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	/		改善・向上すべき課題（何を）
			/		改善・向上する方法（どのように）
					点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 完成年度となる2020年度に検証予定。
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	/		改善・向上すべき課題（何を）	
		/		改善・向上する方法（どのように）	
					点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 完成年度となる2020年度に検証予定。
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じて、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
			/		改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 完成年度となる2020年度に検証予定。	改善・向上する時期（いつまでに）	

学部・学科 研究科・専攻	短期大学部	氏名	中田 晶子		
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 短期大学部教授会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/	改善・向上すべき課題（何を）	
			/	改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回短大部教授会教授会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 短期大学部自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/	改善・向上すべき課題（何を）	
			/	改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 短期大学部第1回FD研修会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	/	点検・評価した組織（例えば教授会） 短期大学部自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				/	改善・向上すべき課題（何を）
				/	改善・向上する方法（どのように）
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 短期大学部第1回FD研修会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	/	点検・評価した組織（例えば教授会） 短期大学部自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				/	改善・向上すべき課題（何を）
				/	改善・向上する方法（どのように）
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 短期大学部第1回FD研修会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	-	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/	改善・向上すべき課題（何を）	
			/	改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）	

学部・学科 研究科・専攻	人間文化研究科	氏名	西江 清高	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人間文化研究科自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば〇〇年度第〇回教授会議事録） ・人間文化研究科委員会（5/15）議事録 ・人間文化研究科自己点検・評価委員会（6/12）記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人間文化研究科自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば〇〇年度第〇回教授会議事録） ・人間文化研究科委員会（5/15）（2/21）議事録 ・人間文化研究科自己点検・評価委員会（6/12）（10/23）記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人間文化研究科委員会、専攻主任会議	改善・向上する組織（例えば教授会） 人間文化研究科内部質保証委員会（仮称）、専攻主任会議
			改善・向上すべき課題（何を） 学修成果の定量的、定性的根拠に基づく評価の具体的なあり方を検討する。	
			改善・向上する方法（どのように） ①「大学院生による授業評価」の中に、学生自身による学修成果の達成度を評価する項目を2019年度Q4実施の授業評価から設けたが、これを引き続き継続する。②卒業生（社会人）による「本研究科における学び」についての意見を聞く。これも2019年度FD企画において実施を始めた。③ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を、各専攻における学びに照らしてより具体的な内容に示し、教員・院生の間で共有する方法の可能性について今後検討する。	
			点検・評価したことを示す資料（例えば〇〇年度第〇回教授会議事録） ・人間文化研究科委員会（2/21）議事録 ・専攻主任会議（11/22）記録 ・2019年度「大学院生による授業評価」実施結果報告書	改善・向上する時期（いつまでに） 上記①②（2019年度開始済み）については2020年度に実績を重ねる。③については、2020年度中に専攻主任会議・人間文化研究科内部質保証委員会（仮称）等で検討をはじめ。
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人間文化研究科委員会、専攻主任会議	改善・向上する組織（例えば教授会） 人間文化研究科内部質保証委員会（仮称）、専攻主任会議
			改善・向上すべき課題（何を） 上記基準4の検討との関連において、アドミッション・ポリシーに示す「求める学生像」をより明確化・具体化できるかを検討する。	
			改善・向上する方法（どのように） 各専攻とも連携しつつ、専攻主任会議・人間文化研究科内部質保証委員会（仮称）等で検討する。	
			点検・評価したことを示す資料（例えば〇〇年度第〇回教授会議事録） ・人間文化研究科委員会（7/15）（2/26）議事録 ・専攻主任会議（2/22）記録	改善・向上する時期（いつまでに） 2020年度に検討をはじめ、2021年度に一定のめどをつける。

学部・学科 研究科・専攻	宗教思想専攻	氏名	坂下浩司	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 宗教思想専攻自己点検・評価委員会（キリスト教思想専攻と合同）	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回宗教思想専攻自己点検・評価委員会議事録（キリスト教思想専攻と合同）	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 宗教思想専攻自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回宗教思想専攻自己点検・評価委員会議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 宗教思想専攻自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回宗教思想専攻自己点検・評価委員会議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 宗教思想専攻自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回宗教思想専攻自己点検・評価委員会議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じて、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 宗教思想専攻自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第1回宗教思想専攻自己点検・評価委員会議事録	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	人類学専攻	氏名	渡部森哉	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人類学専攻自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度人類学専攻自己点検・評価委員会記録（2020年4月20日開催）	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人類学専攻自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度人類学専攻自己点検・評価委員会記録（2020年4月20日開催）	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人類学専攻自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度人類学専攻自己点検・評価委員会記録（2020年4月20日開催）	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人類学専攻自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度人類学専攻自己点検・評価委員会記録（2020年4月20日開催）	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人類学専攻自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度人類学専攻自己点検・評価委員会記録（2020年4月20日開催）	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	教育ファシリテーション専攻	氏名	加藤 隆雄	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 教育ファシリテーション専攻自己点検・評価委員会 点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度教育ファシリテーション専攻自己点検・評価報告資料 2019年度人間文化研究科自己点検・評価委員会(6/12)記録	改善・向上する組織（例えば教授会） 改善・向上すべき課題（何を） 改善・向上する方法（どのように） 改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。 ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人間文化研究科自己点検・評価委員会 点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度人間文化研究科委員会資料・学位審査報告書（教育ファシリテーション） 2019年度人間文化研究科委員会議事録(2/21) 2019年度人間文化研究科自己点検・評価委員会記録(6/12) (10/23) 点検・評価した組織（例えば教授会） 教育ファシリテーション専攻会議 人間文化研究科委員会 人間文化研究科専攻主任会議 点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度人間文化研究科委員会資料・学位審査報告書（教育ファシリテーション） 2019年度人間文化研究科委員会議事録(2/21) 2019年度秋学期「大学院生による授業評価」実施結果報告書（人間文化研究科教育ファシリテーション専攻） 2019年度「大学院生による授業評価」実施結果報告書 人間文化研究科専攻主任会議記録(11/22)	改善・向上する組織（例えば教授会） 改善・向上すべき課題（何を） 改善・向上する方法（どのように） 改善・向上する時期（いつまでに） 2020年度（9月入学者）または2021年度に実施したい。 定量的、定性的根拠に基づく評価ができる体制は整っているが、在籍者不足のため、2019年度に「大学院生による授業評価」質問票に追加された学修成果の自己評定項目についてはまだデータがない。 データ収集が可能な態勢（入学者の確保）を作り、評価を実施可能なものとしたうえで、評価の実質的検討を行う。
基準5 学生の受け入れ	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。 アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じて、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 人間文化研究科委員会 人間文化研究科専攻主任会議 点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度人間文化研究科委員会議事録(2/21) 人間文化研究科専攻主任会議記録(2/22) 点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2020年度大学院入試合否判定資料 2019年度人間文化研究科委員会議事録(7/15)(2/26) 人間文化研究科専攻主任会議記録(2/22)	改善・向上する組織（例えば教授会） 改善・向上すべき課題（何を） 改善・向上する方法（どのように） 改善・向上する時期（いつまでに） 2020年度に検討をはじめます。 専攻の「求める学生像」と志願者とのマッチングの精度をさらに上げていくために、学習歴、学力水準、能力についてアドミッション・ポリシーにより明確に示すべきかを検討する。

学部・学科 研究科・専攻	言語科学専攻	氏名	鈴木達也	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば〇〇年度第〇回教授会議事録） 2019年度第4回、第8回言語科学専攻会議資料および議事録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば〇〇年度第〇回教授会議事録） 2019年度第13回言語科学専攻会議	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 専攻会議、研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を） 履修要項における特定課題研究の評価に関わる表現が明確ではない。	
			改善・向上する方法（どのように） 修士論文と同様な明確さで特定課題研究の評価ができるように履修要項の記述を修正する。	
			点検・評価したことを示す資料（例えば〇〇年度第〇回教授会議事録） 2019年度第12回、第13回言語科学専攻会議資料および議事録、2019年度第10回、第11回人間文化研究科委員会資料および議事録	改善・向上する時期（いつまでに） 2019年度中。2020年度履修要項では修正済み。
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）	
		改善・向上すべき課題（何を）		
		改善・向上する方法（どのように）		
		点検・評価したことを示す資料（例えば〇〇年度第〇回教授会議事録） 第8回、第13回言語科学専攻会議資料および議事録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば〇〇年度第〇回教授会議事録） 第14回言語科学専攻会議資料および議事録	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	国際地域文化研究科	氏名	上村直樹	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会、研究科運営委員会（研究科自己点検・評価委員会を兼ねる）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第3回国際地域文化研究科委員会記録（5月15日）；2019年度研究科運営委員会記録（5月10日）；研究科3つのポリシー（ https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/m_aa/policy.html ； https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/m_aa/phd/policy.html ）；国際地域文化研究科学位論文審査基準（博士前期・博士後期：2019年12月11日改正）	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会、研究科運営委員会（研究科自己点検・評価委員会を兼ねる）	改善・向上する組織（例えば教授会） 研究科運営委員会、研究科委員会
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第10回国際地域文化研究科委員会記録（12月11日）；同第11回国際地域文化研究科委員会記録（1月15日）；2019年度研究科運営委員会記録（12月2日、1月9日）；研究科3つのポリシー（ https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/m_aa/policy.html ； https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/m_aa/phd/policy.html ）；国際地域文化研究科学位論文審査基準（博士前期・博士後期：2019年12月11日改正）	改善・向上する時期（いつまでに） 2021年3月末
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会、研究科運営委員会	改善・向上する組織（例えば教授会） 研究科運営委員会、研究科委員会
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第10回国際地域文化研究科委員会記録（12月11日）；同第11回国際地域文化研究科委員会記録（1月15日）；2019年度研究科運営委員会記録（12月2日、1月9日）；研究科3つのポリシー（ https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/m_aa/policy.html ； https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/m_aa/phd/policy.html ）；国際地域文化研究科学位論文審査基準（博士前期・博士後期：2019年12月11日改正）	改善・向上する時期（いつまでに） 2021年3月末

評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			研究科運営委員会	研究科運営委員会
			/	改善・向上すべき課題（何を）
				研究科運営委員会では、翌年の時間割編成の際に研究科のカリキュラムの適切性についてもカリキュラム・ポリシーおよびディプロマ・ポリシーを踏まえた点検・評価を行っており、カリキュラム自体は、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるために適切なものと2019年度も確認している。但し、カリキュラム・ポリシー自体が「ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）」についての基本的な考え方を明確に示しているか」という点についての検討は必ずしも十分ではない。
点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）			
2019年度研究科運営委員会記録（9月19日、10月17日、3月6日）；研究科3つのポリシー（ https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/m_aa/policy.html ； https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/m_aa/phd/policy.html ）；国際地域文化研究科学位論文審査基準（博士前期・博士後期：2019年12月11日改正）	2021年3月末			
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）
			研究科委員会、研究科運営委員会（研究科自己点検・評価委員会を兼ねる）	改善・向上すべき課題（何を）
			/	特になし。
				改善・向上する方法（どのように）
点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）			
2019年度研究科運営委員会記録（6月5日、10月17日、1月9日）；研究科3つのポリシー（ https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/m_aa/policy.html ； https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/m_aa/phd/policy.html ）；国際地域文化研究科学位論文審査基準（博士前期・博士後期：2019年12月11日改正）				

学部・学科 研究科・専攻	社会科学研究科	氏名	奥田 隆明	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会、自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第2回研究科委員会報告資料4、第4回研究科委員会審議資料8、第1回自己点検・評価委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会、自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第2回研究科委員会報告資料4、第4回研究科委員会審議資料8、第1回自己点検・評価委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	×	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会、自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会） 研究科委員会、自己点検・評価委員会
				改善・向上すべき課題（何を） 学位審査の段階だけでなく、毎年の研究指導の段階でも、学修成果の定量的又は定性的な評価を実施する必要がある。
				改善・向上する方法（どのように） それぞれの指導教員が学修成果の定量的、定性的な評価について考えながら研究指導計画を立て、その結果を研究指導報告書で報告する仕組みを構築する。
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第10回研究科委員会報告資料2、第12回研究科委員会記録、第2回自己点検・評価委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに） 2020年度に開始し、以後、その改善に取り組む。
基準5 学生の受け入れ	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会、自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第2回研究科委員会報告資料4、第4回研究科委員会審議資料8、第1回自己点検・評価委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会、自己点検・評価委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第2回研究科委員会報告資料4、第4回研究科委員会審議資料8、第1回自己点検・評価委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	経済学専攻	氏名	阪本俊生	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 社会科学研究科経済学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第4回専攻会議（5月29日開催）	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 専攻会議・研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○		改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 博士課程のディプロマポリシーを改定した2019年5月29日開催の専攻会議議事録、2019年7月13日開催の研究科委員会議事録 専攻会議議事録・修士論文の審査および最終試験に関する取扱要領・学位論文審査報告書	改善・向上する時期（いつまでに）
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 専攻会議・研究科委員会、3月31日開催の学生向けのガイダンス、5月18日開催の懇談会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年4月24日開催の専攻会議議事録、ガイダンス資料、懇談会資料、2019年11月27日開催の専攻会議議事録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 4月10日および12月11日開催専攻会議議事録、経済学専攻の学位論文審査報告書。	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	経営学専攻	氏名	南川 和充	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 経営学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 19年度第2回経営学専攻会議審議事項2：回覧資料 19年度第13回経営学専攻会議報告事項3：資料3	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 経営学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 19年度第2回経営学専攻会議審議事項2：回覧資料 19年度第13回経営学専攻会議報告事項3：資料3	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 経営学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 19年度第2回経営学専攻会議審議事項2：回覧資料 19年度第13回経営学専攻会議報告事項3：資料3	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 経営学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 19年度第2回経営学専攻会議審議事項2：回覧資料 19年度第13回経営学専攻会議報告事項3：資料3	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 経営学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 19年度第2回経営学専攻会議審議事項2：回覧資料 19年度第13回経営学専攻会議報告事項3：資料3	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	総合政策学専攻	氏名	David Potter	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 総合政策学専攻会議、社会科学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
				改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 総合政策学専攻会議、社会科学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
				改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 総合政策学専攻会議、社会科学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
				改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 総合政策学専攻会議、社会科学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
				改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 総合政策学専攻会議、社会科学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
				改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	ビジネス研究科	氏名	奥田 隆明	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 経営学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 19年度第2回経営学専攻会議審議事項3：回覧資料19年度第13回経営学専攻会議報告事項3：資料3	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 経営学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 19年度第2回経営学専攻会議審議事項3：回覧資料19年度第13回経営学専攻会議報告事項3：資料3	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 経営学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 19年度第2回経営学専攻会議審議事項3：回覧資料19年度第13回経営学専攻会議報告事項3：資料3	改善・向上する時期（いつまでに）
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 経営学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 19年度第2回経営学専攻会議審議事項3：回覧資料19年度第13回経営学専攻会議報告事項3：資料3	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 経営学専攻会議	改善・向上する組織（例えば教授会）
			改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 19年度第2回経営学専攻会議審議事項3：回覧資料19年度第13回経営学専攻会議報告事項3：資料3	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	法務研究科	氏名	石田秀博		
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			2019年度理念・目的及び教育目標検証会		
			2020年度第1回研究科委員会	改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）	
			2019年度理念・目的及び教育目標検証会議事録		
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			2019年度理念・目的及び教育目標検証会		
			2020年度第1回研究科委員会	改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
				2019年度理念・目的及び教育目標検証会議事録	
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			2019年度理念・目的及び教育目標検証会		
			2020年度第1回研究科委員会	改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）
				2019年度理念・目的及び教育目標検証会議事録	
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）		
		2019年度理念・目的及び教育目標検証会			
		2020年度第1回研究科委員会	改善・向上すべき課題（何を）		
			改善・向上する方法（どのように）		
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）	
			2019年度理念・目的及び教育目標検証会議事録		
			2020年度第1回研究科委員会議事録		
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じて、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会）	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			2019年度理念・目的及び教育目標検証会		
			2020年度第1回研究科委員会	改善・向上すべき課題（何を）	
			2019年度入試管理委員会	改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録）	改善・向上する時期（いつまでに）	
			2019年度理念・目的及び教育目標検証会議事録		
			2020年度第1回研究科委員会議事録		
			2019年度入試管理委員会議事録		

学部・学科 研究科・専攻	法学研究科	氏名	榎原秀剛	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 法学研究科設置申請書、設置に係る設置計画履行状況報告書、南山大学大学院の目的に関する規程、法学研究科3つのポリシー	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 法学研究科設置申請書、設置に係る設置計画履行状況報告書	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 法学研究科設置申請書、設置に係る設置計画履行状況報告書、2019年度新入生ガイダンス資料、2019年度大学院履修要項	改善・向上する時期（いつまでに）
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 法学研究科設置申請書、設置に係る設置計画履行状況報告書	改善・向上する時期（いつまでに）
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
				改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第2回大学院入試運営委員会議事録、2019年度法学研究科（2020年2月28日）議事録、2020年度法学研究科入試要項、法学研究科設置申請書、設置に係る設置計画履行状況報告書	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	理工学研究科	氏名	野呂昌満		
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み	
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）		
		/		改善・向上すべき課題（何を）	
				改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）		
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
			/		改善・向上すべき課題（何を）
					改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	

学部・学科 研究科・専攻	システム数理専攻	氏名	三浦英俊	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第17回理工学研究科委員会 議事録 審議事項5. 3つのポリシーの検証について	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会 議事録 審議事項5. 3つのポリシーの検証について	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第14回理工学研究科委員会 議事録 審議事項2. 2019年度博士前期課程の修了判定について	改善・向上する時期（いつまでに）
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
		/	改善・向上すべき課題（何を）	
		/	改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会 議事録 審議事項5. 3つのポリシーの検証について	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 理工学研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
			/	改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会 議事録 審議事項5. 3つのポリシーの検証について	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	ソフトウェア工学専攻	氏名	蜂巢吉成	
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第6、16回理工学研究科委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）
カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
		/	改善・向上すべき課題（何を）	
			改善・向上する方法（どのように）	
		点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）
			/	改善・向上すべき課題（何を）
				改善・向上する方法（どのように）
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会記録	改善・向上する時期（いつまでに）

学部・学科 研究科・専攻	機械電子制御工学専攻	氏名	河野浩之			
評価基準	評価の視点	○/×	点検・評価プロセス	(○×欄が「×」の場合は必ず記入すること) 改善・向上に向けた取り組み		
基準1 理念・目的	学部・学科、研究科・専攻の目的は、大学および大学院の目的に沿っているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）		
			/		改善・向上すべき課題（何を）	
					改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会 記録 3つのポリシーの検証について	改善・向上する時期（いつまでに）		
基準4 教育課程・学習成果	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、卒業・修了までに養成する資質・能力をできる限り具体的かつ明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）		
			/		改善・向上すべき課題（何を）	
					改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会 記録 3つのポリシーの検証について	改善・向上する時期（いつまでに）		
	ディプロマ・ポリシーに示す学修成果は、定量的又は定性的な根拠に基づき評価することができるものとなっているか。	○	/	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
				/		改善・向上すべき課題（何を）
						改善・向上する方法（どのように）
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会 記録 3つのポリシーの検証について	改善・向上する時期（いつまでに）	
	カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示す学修成果を修得させるための、教育課程の編成（科目の配置等）および実施（授業形態や教育方法等）についての基本的な考え方を明確に示しているか。	○	/	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）	
				/		改善・向上すべき課題（何を）
						改善・向上する方法（どのように）
				点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会 記録 3つのポリシーの検証について	改善・向上する時期（いつまでに）	
基準5 学生の受け入れ	アドミッション・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに沿った、求める学生像を明確に示すとともに、必要に応じ、入学前の学習歴、学力水準、能力を明確に示しているか。	○	点検・評価した組織（例えば教授会） 研究科委員会	改善・向上する組織（例えば教授会）		
			/		改善・向上すべき課題（何を）	
					改善・向上する方法（どのように）	
			点検・評価したことを示す資料（例えば○○年度第○回教授会議事録） 2019年度第16回理工学研究科委員会 記録 3つのポリシーの検証について	改善・向上する時期（いつまでに）		